


(様式第1号)

平成26年3月31日

陸前高田市議会議員 伊藤 明彦 殿

会派名 日本共産党陸前高田市議団

代表者名 団長 藤倉 泰治 

政務活動概要報告書

政務活動費に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、平成25年度政務活動の状況について報告いたします。

記

事業名

1. 調査研究事業

(1) 深澤晟雄資料館の見学

①日 時 平成25年10月14日(日)

②場 所 「深澤晟雄資料館」 和賀郡西和賀町沢内字太田2-68

③調査者 藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

④行 程 14:00 深澤晟雄資料館入館

案内者の説明を受けながら館内を見学

15:00

⑤調査研究項目

ア. 全国に先駆けて乳児と老人の医療費を無料化した、旧沢内村の深澤晟雄村長の業績を学ぶ。

イ. 陸前高田市のチリ地震津波や沢内村の冷害における相互の救援活動の交流の歴史についても知ることができた。

(2) 江戸東京博物館の特集展示「2011.3.11 平成の大津波被害と博物館」の見学

①日 時 平成26年3月22日(土)

②場 所 東京都江戸東京博物館(東京都墨田区横綱1-4-1)

③調査者 藤倉泰治

④行 程 11:50 江戸東京博物館入館

特集展示 「2011.3.11 平成の大津波被害と博物館」—被災資料の再生をめざして—を見学

13:00

⑤調査研究項目

ア. 陸前高田市博物館所蔵の被災した文化財等の修復された資料を中心に展示されていた。その展示物とレスキュー活動の状況を調査した。

イ. 大津波の状況とその被害についても、当時の写真や被災資料をもとに調査した。

ウ. 大震災の被災によって、博物館の役割を改めて知ることとなった。また、津波被害という過去になかった被害における文化財の修復技術、レスキュー活動についても学ぶことができた。



2. 研究研修事業

(1) 復旧・復興全国交流集会 2013 インいわて

①主催者 復旧・復興全国交流集会 2013in インいわて実行委員会

後援：全国災害対策連絡会

②日 時 平成 25 年 10 月 13 日（日）～14 日（月・祝）

③場 所 花巻温泉「ホテル花巻」

④参加者 団長 藤倉泰治、副団長 大坪涼子、幹事長 伊勢純 以上 3 名

⑤行 程 10 月 13 日（日）

陸前高田市 10：00 発→宮守 IC→花巻空港 IC→花巻温泉「ホテル花巻」

12：30 着 復旧・復興全国交流集会 in いわて参加（記念講演、被災地
報告、分科会） 旅館宿泊

10 月 14 日（月・祝）

8:30 復旧・復興全国交流集会 in いわて参加（分科会、全体集会）「ホテ
ル花巻」

12:55 集会終了→西和賀町沢内「深澤晟雄記念館」13:30 発→湯田 IC→
水沢 IC→17：30 陸前高田着

⑥集会日程

10 月 13 日（日）

13:00 開会

13:30 記念講演『「海と緑と太陽との共生・海浜新都市」の創造に向け
て』

講師 戸羽 太氏（岩手県陸前高田市市長）

14:40 <第 1 部>東日本大震災被災地の現状と課題の報告
岩手、宮城、福島各県から報告

15:25 <第 2 部>豪雨災害被災地からの現状と課題の報告
九州北部豪雨、紀伊半島豪雨災害

16:10 分科会

「被災者の生活再建」伊勢議員参加

「住民の意思にもとづくまちづくり、集団移転を」大坪議員参加

「被災地で地域住民が安心できる社会保障の拡充を」藤倉議員参加

10 月 14 日（月・祝）

8:30 分科会再開 11:40 全体集会、分科会報告 12:55

12:55 まとめと閉会 13:00 終了

⑦研修項目

ア、全国集会の場で、地元陸前高田市市長の講演により本市の復興をめぐる苦
労や、新しいまちづくりの構想を聞くことができた。

イ、岩手、宮城、岩手 3 県の被害の実態、復旧・復興のとりくみの現状を研
修できた。

ウ、福島の「福島原発の今」や宮城の「メデイカルメガバンク」「女川原発
再稼動」の危険性なども知ることができた。

(2) 会派視察

①視察先 秋田県能代市

②日 時 2014年2月12日(水)

③参加者 団長 藤倉泰治、副団長 大坪涼子、幹事長 伊勢純 3名

④行 程 2月12日(月)

陸前高田市 6:45 発→一関駅 8:38 発→盛岡 9:14 着→秋田 11:07 駅発→
能代駅 12:22 着 14:00 能代市役所 視察
能代駅 16:34 発 → ウエスパ椿山着 ホテル宿泊
2月13日(木) 8:30 ホテル発→送迎バス→新青森駅 11:30 発→一
関着 14:50 → 陸前高田着 16:30

⑤研修項目

能代市「地域の公共交通の取組について」

あいさつ 薩摩副議長

説 明 能代市環境産業部商工港湾課

環境産業部次長・商工港湾課長 池端勝尚

〃 課長補佐 鈴木浩文

○「能代市公共交通戦略」の策定と考え方、取り組み状況の説明

○デマンド型(予約制)乗合タクシー、巡回バスの運行状況

- ⑥所感
- 1) 地域公共交通を重視し、「公共交通戦略」を策定し、市民の足の確保をまちづくりの基本課題としていた。
 - 2) 市民アンケートや、実際にバスやタクシーに乗車しながら利用者の声聞く取組など実態をよくつかんで運行計画を練っていた。
 - 3) 病院や学校など、運行のポイントを考えながら、バス、タクシー、鉄道などの運行やダイヤ編成に取り組んでいた。
 - 4) 本市の今後の高台や仮設住宅の状況など、バスやタクシーなどの運行計画において参考になった。

(3) 東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議(第3回総会)の参加

①集会名 東日本大震災「講演とリレートーク」

②日 時 平成25年8月17日(土) 13:00~14:30

③会 場 宮古市・陸中ビル会議室

④参加者 団長 藤倉泰治 副団長 大坪涼子 幹事長 伊勢 純 計3名

⑤行 程 8月17日(土)

陸前高田市 10:30 発→宮古市・陸中ビル 12:30 着→ 集会参加
14:30 発 → 16:30 陸前高田着 0

⑥研修項目

講演 「被災地における事業所再生と雇用対策について」

講師 佐藤日出海氏(宮古市産業振興部長)

リレートーク 葛 浩史さん(宮古市社会福祉協議会事務局長)

小林 昭榮さん(田老町漁業協同組合組合長)

舘洞 實さん（鍬ヶ崎児童遊園仮説自治会長）

林本 卓男さん（グリーンピア仮設大平自治会長）

(4) 地方議員 仙台セミナーの参加

①主催者 保育研究所

②日 時 平成 26 年 2 月 10 日（月） 10:30～17:30

③場 所 仙台市・フォレスト仙台

④参加者 幹事長 伊勢 純

⑤行 程 2 月 10 日（月）

陸前高田市 7:30 発→一関駅 9:30→ 仙台着 10:00 タクシー乗車
セミナー参加

17:30 発 → 地下鉄 仙台駅 18:30 発 →一ノ関駅 19:00 20:30 陸
前高田着

⑥研修項目

開会にあたって 「新制度導入までの経過」 逆井直紀（保育研究所）

講義 1 「子ども・子育て支援関連 3 法の概要、新制度の全体像」

給付と子育て支援事業、給付の仕組み、多様な施設・事業と基準

講師：村山祐一（保育研究所所長・元帝京大学教授）

講義 2 「利用者サイドから見た新制度」

利用の流れ（認定と入所、利用調整、契約）と保育料、児童福祉法 24
条 1 項と 2 項

講師：田村和之（広島大学名誉教授）

講義 3 「市町村・地方議会の課題、子ども・子育て会議と事業計画」

市町村・地方議会が決定すべき事項、子ども・子育て会議の状況、事業
計画の概要、施設の統廃合、認定子ども園への移行問題

講師：杉山隆一（佛教大学）

(5) 東日本大震災津波「3年のつどい in おおつち」の参加

①主催者 東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議

②日 時 平成 26 年 3 月 2 日（日） 13:20～16:30

③場 所 岩手県・大槌町中央公民館・大会議室

④行 程 3 月 2 日（日）

陸前高田市 11:30 発→大槌町中央公民館 13:00 着→ 集会参加
16:30 発 → 18:30 陸前高田着

⑤研修項目

○講演「3・11 から 3 年、本格的復興の年に」

講師 碓川 豊 大槌町長

○リレートーク「被災者のコミュニティづくりめざし」

三浦 勝男さん（まさない仮設団地自治会長）

大槌高校・吹奏楽部の高校生

深澤寿人さん（NPO すわこ文化村ホット映画会現地事務局）

会場の参加者からの発言交流

○鑑賞 合唱 「槌音プロジェクト」のコーラス

3 広聴広報活動

- (1) 仮設団地の集会所において、住宅再建・公営住宅についての懇談会を開催した。
- (2) 議員団ニュースを使いながら、市の支援制度の紹介や、議員団で取り組んできたことを知らせる活動を行った。また、県立病院再建、JR 問題や仮設住宅の住環境改善など、国政で取り上げた課題についても報告してきた。
- (3) 寄せられた要望や意見については、市長や関係部課にも申し入れ実現に努めた。

(A4)